Panasonic

取付設置説明書

Theシャワー

品番：GK（D／K）6ZT1WT（R／L）
GK（D／K）6ZT1WP（R／L）
GK（D／K）6ZT1WE（R／L）
GK（D／K）6ZT1WV（R／L）



もくじ

安全上のご注意	2
改訂履歴/事前確認事項	3
寸法図	5
構成図	6
仕様	8
取り付け穴開口および補強合板貼り付け位置図	9
取付設置前準備	13
取付設置手順	14
凍結防止方法	25

■この取付設置説明書は「Theシャワー」に必要な取付設置方法のみを記載しています。取付設置説明書と、バスルームの取付設置説明書【本体編】を併せてよくお読みのうえ、正しく安全に取付設置してください。
特に「安全上のご注意」（2ページ） は、取付設置前に必ずお読みください。

■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

■取付設置説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で取付設置されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その取付設置が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■この商品には「取扱説明書」を添付していますので、バスルームの「取扱説明書」と共に、必ずお施主様または建築工事責任者にお渡しください。

■取付設置後、必ず試運転（19ページ）を行ってください。

■この商品は、「壁パネル建て込みの作業」がありますのでご注意ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った取付設置をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

 分解禁止	**分解・修理・改造は絶対に行わない** やけどや故障、水漏れの原因になります。	 必ず守る	**給水・給湯配管を正しく接続する** 逆に接続すると高温の湯が出てやけどの原因となります。

⚠注意

 必ず守る	**給水・給湯などの配管工事は、関連する法令・規制などに従って実施する** 工事が不完全な場合には、水漏れのおそれがあります。	 必ず守る	**水栓固定金具や裏配管の取り付けは、必ず専用工具を使用する** 専用工具を使用しないと、部材などが破損して水漏れの原因となります。
	運搬や取付設置時は必ず手袋をはめ、長袖などの作業に適した服装で行う 守らないと、けがをするおそれがあります。		**締め付けリングはドリリング皿タッピンねじで確実に固定する** ねじ固定をしないと、緩みにより水漏れしたり、落下してけがをするおそれがあります。
	本体およびシャワーフック、は、取付設置説明書どおりに（指定位置・取付寸法など）確実に取り付ける 使用中に落下したり、外れたりしてけがをするおそれがあります。		**水抜栓や止水栓は冷えてから扱う** 守らないと、やけどの原因となります。
	シーリング充てんは指定か所に確実に行う 確実にシーリング充てんしないと、水漏れの原因となります。		**凍結が予想される場合は水抜きを行う** 水抜きを行わないと、凍結破損して水漏れの原因となります。
			凍結が予想される地域では、配管工事の際、配管最下部に「水抜栓」を必ず設置する 「水抜栓」を設置しないと、凍結破損して水漏れの原因となります。

改訂履歴

改訂年月	No.	内容	ページ

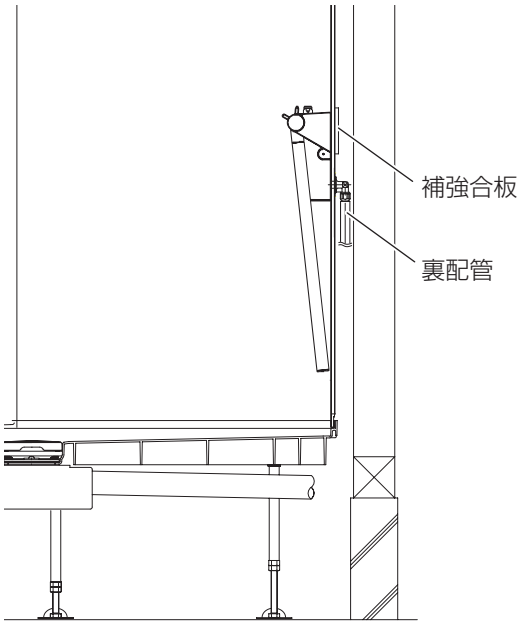
事前確認事項

1. 設置可能なスペース

●ドアの開閉ができること、ドアの取っ手や握りバーなどの突起物が干渉しないか、
寸法図（5ページ）にて確認してください。

2. 取り付け壁の構造

●壁パネル裏面に所定の補強が必要です。
●既設のユニットバス、シャワーユニットには取り付けできません。
●水栓固定金具は含まれていません。



3. 水圧の確認

●本装置を快適にお使いいただくには、給水圧力・給湯圧力共に動水圧で100～600kPa(0.1～0.6MPa)の範囲内を確保してください。
（動水圧は給水、給湯ともに毎分4L以上流れているときの圧力とします。）

●給水圧力を給湯圧力より必ず高くしてください。
(給湯圧力のほうが高い場合は、温度調整が不安定になります。また、高温水が出ることがあります。)

●動水圧が600kPa以上の場合は減圧弁を取り付けて水圧を下げてください。この場合も給水圧力が給湯圧力より高くなるようにしてください。
(減圧弁は給水側、給湯側の2か所に取り付けてください。電気温水器の場合は給水側1か所に取り付けてください。)

●水圧が低い場合は、給水加圧装置、給湯加圧装置などで加圧してください。

●給水圧力が変動する場合は、出湯温度が変動することがあります。動水圧が300kPaを超える場合は、変動幅を減少させるため減圧弁を取り付けることをお奨めします。（給水・給湯側2か所）

		100kPa未満	使用圧力範囲 100～300kPa	300～600kPa	600kPa以上
給水圧力	必ず 給水圧力 ＞ 給湯圧力	給水加圧装置が必要	—	減圧弁を推奨	減圧弁を取り付け
給湯圧力		給湯加圧装置が必要	—	減圧弁を推奨	減圧弁を取り付け

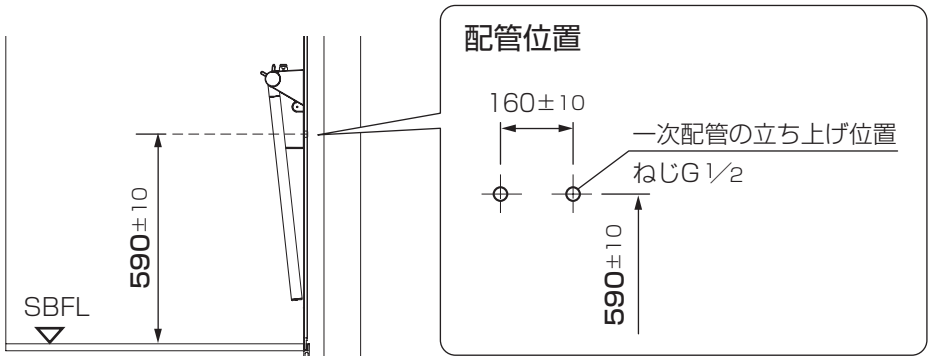
4. 水質

●本装置は水道水対応です。簡易水道、井戸水は上水道の水質基準に適合している場合は使用できます。

5. 一次配管の立ち上げ位置

[寸法単位：mm]

●一次配管の立上げ位置は、590±10であることを確認してください。



6. 給湯器の選定

●ガス給湯器の場合
給湯能力が16号以上の給湯器をご使用ください。

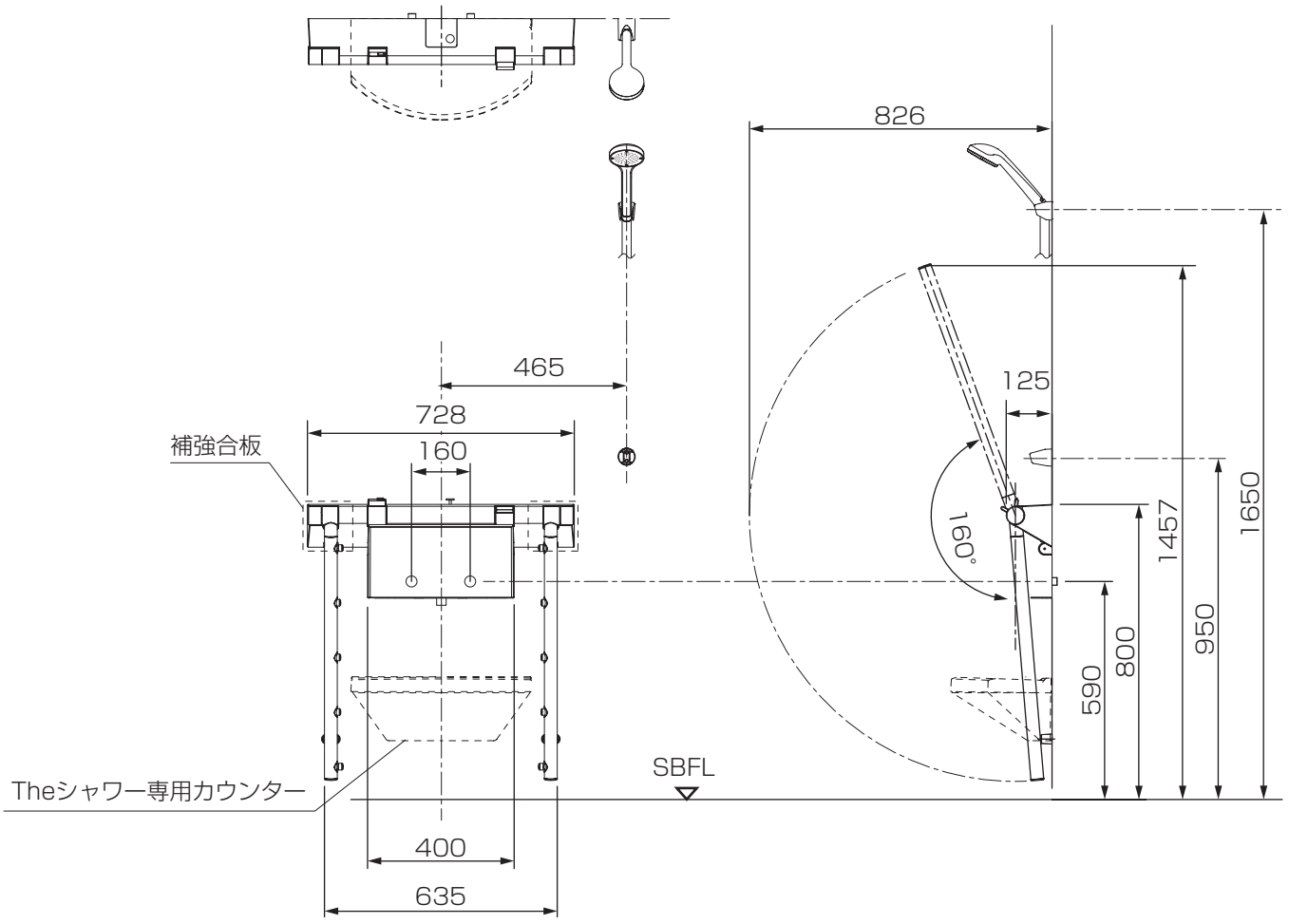
●電気温水器の場合
給湯圧が100kPa以上になるようにしてください。タンク容量は42℃の湯を1分間に9L以上使用する計算で湯切れに十分余裕があるか確認してください。

7. その他

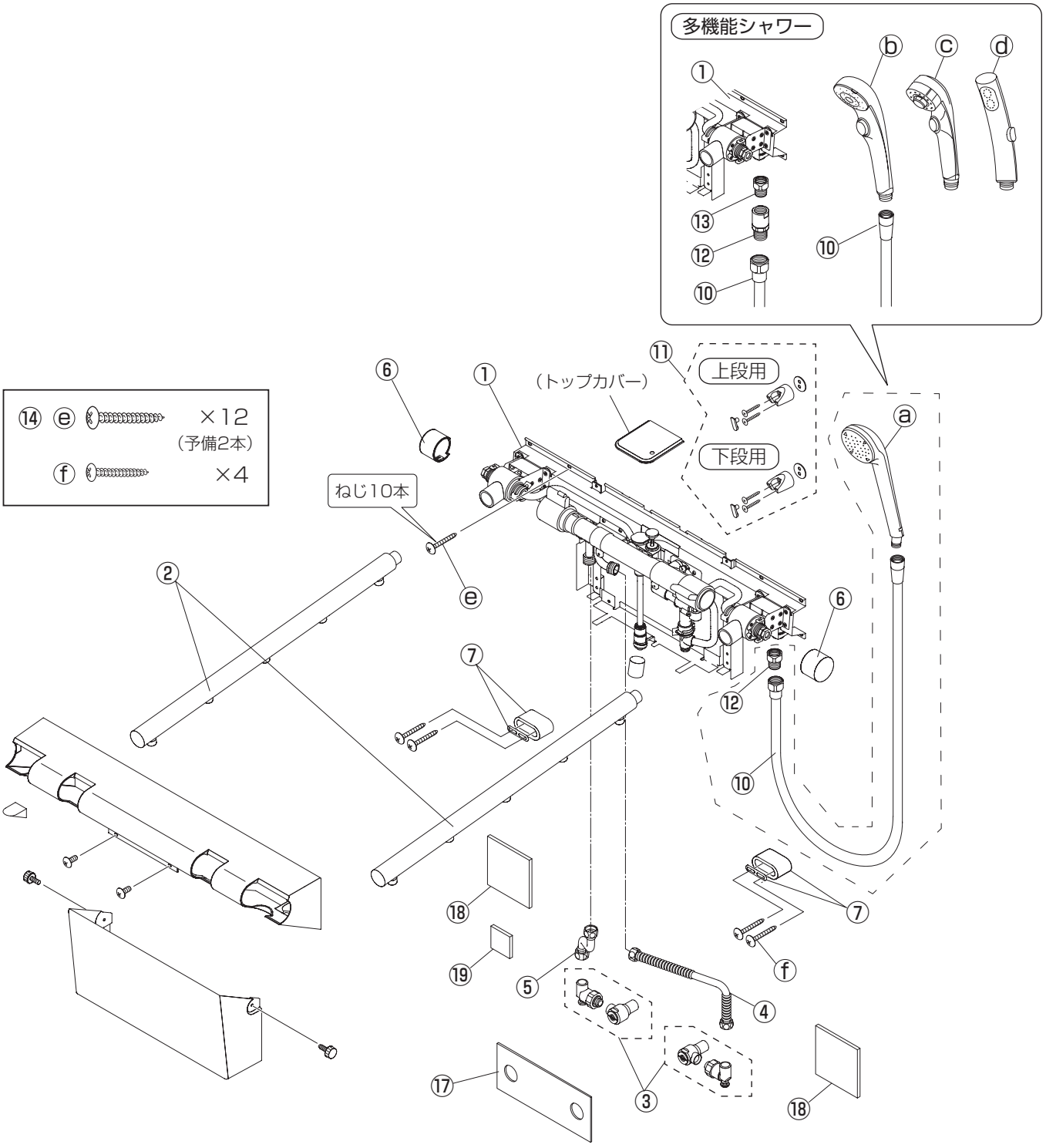
●給湯器本体の温度設定が低い場合には本商品の温度調節ハンドルで設定した温度の湯が出ない場合があります。給湯器本体の温度設定を60℃以上にしてください。

寸法図

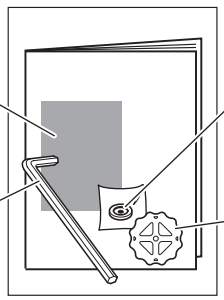
[寸法単位：mm]


826
465
728
160
補強合板
125
160°
1650
1457
950
800
590
SBFL
Theシャワー専用カウンター
400
635

構成図



⑧ ⑮ ⑳ ㉑ は取付設置後、必ずお客様にお渡しください。



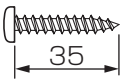
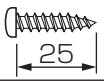
⑮取扱説明書

⑧六角棒レンチ
（3mm）

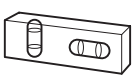
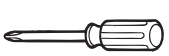
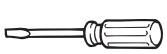
⑳シャワーホース用オリフィスパッキン
※ⓐメタルシャワーヘッドには
付属されません

㉑シャワーヘッドお手入れ用の治具
※ⓐメタルシャワーヘッド、
ⓑメタルワンタッチシャワーヘッドのみ

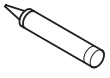
■シャワーユニット

	部品名	個数
①	シャワーブロック	1
②	アームブロック(L／R)	各1
③	止水栓ブロック(L／R)	各1
④	給水配管	1
⑤	給湯配管	1
⑥	サイドキャップカバー（パッキン2個）	2
⑦	アームストッパー･アームストッパー金具	2
⑧	六角棒レンチ（3mm） お客様渡し	1
⑨	ハンドシャワーヘッド ⓐメタルシャワーヘッド ⓑメタルワンタッチシャワーヘッド 多機能シャワー ⓒエステシャワーヘッド 多機能シャワー ⓓ新W節水シャワーヘッド 多機能シャワー	いずれか 1
⑩	シャワーホース （平パッキン1個）	1
⑪	ハンドシャワーフック（カバー、取付ねじ付）	1
⑫	逆止弁	1
⑬	減圧弁 多機能シャワー	1
⑭	取付設置部品セット	1
	ⓔトラスAタッピン φ5×35 	12 （予備2本）
	ⓕトラスAタッピン φ4×25 	4
⑮	取扱説明書 お客様渡し	1
⑯	取付設置説明書	1
⑰	水栓固定プレート	1
⑱	補強合板（□175×t9）	2
⑲	補強合板（□80×t9） ［・ココチーノ　NEW L クラス： 1621 エスライン・アーチ・リクライン、1623 ワイド ・リフォムス： 1621 ナナメ・タマゴ・ストレート、1624（コーナー浴槽）］	1
⑳	シャワーホース用オリフィスパッキン お客様渡し	1
㉑	シャワーヘッドお手入れ用の治具 お客様渡し	1

■使用工具

φ2.8ドリル	φ3.2ドリル 	モンキーレンチ(2本) 
φ30ホールソー 	電動ドライバー ⊕ 	コーキングガン 
水準器 	温度計 	ドライバー ⊕ 
		ドライバー ⊖ 

■現場調達部材

シーリング材 	
シールテープ 	

仕様

品　番	本体	GK（D／K）6ZT1WT（R／L）ハンドシャワー：メタル
		GK（D／K）6ZT1WP（R／L）ハンドシャワー：メタルワンタッチ
		GK（D／K）6ZT1WE（R／L）ハンドシャワー：エステシャワー
		GK（D／K）6ZT1WV（R／L）ハンドシャワー：新W節水
接続部	配管接続口	おねじ G1／2（水栓接続口）
	使用圧力範囲	100～600kPa（0.1～0.6MPa）
	耐圧性能	1.75MPa　1分間
質　量		約 11kg
操作部	温度調節ハンドル	水温～約47℃
	シャワー切替ハンドル	アームシャワー／吐水／止水および流量調節
	切替スイッチ	吐水／ハンドシャワー切替
	アームシャワー	高さ調節　垂直下方（収納時）～上方160°
		向き調節　下側向～内側向　90°
		ノズル方向調節　4か所（アーム両端部）
基本性能	アームシャワー流量	9.0L/min（100kPa時）
	ハンドシャワー流量	メタル：7.2L/min（100kPa時）
		メタルワンタッチ：6.4L／min（100kPa時）
		エステシャワー：：5.2L／min（100kPa時）
		新W節水シャワー：5.3L／min（100kPa時）
	吐水流量	9.1L／min（100kPa時）
	温度調節性能	安全ボタン停止置約42℃
		高温出湯防止機能約47℃以下
		ハイカット弁約52℃で作動
材　質	カバー部、ノズル	樹脂製
	アーム	金属製
	ハンドシャワー	樹脂製
安全装置		高温出湯防止サーモバルブ
品質認証	日水協認証登録番号	器－21
	性能項目	耐圧性能、水撃限界性能、逆流防止性能、耐寒性能

取り付け穴開口および補強合板貼り付け位置図

〔寸法単位：mm〕

下図は R 勝手の場合における壁パネル表側から見た位置図です。
補強合板および水栓固定プレートは、点線表示しています。

●下穴サイズ

○ 印	φ3.2
× 印	φ2.8

□ 部は、補強合板位置。

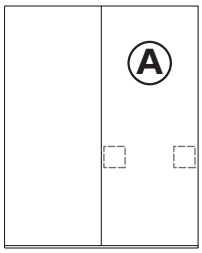
アクセサリー部材の取り付け位置は、ココチーノ　Lクラス、リフォムスの取付設置説明書をご参照ください。

注意 浴室サイズにより、取り付け位置が異なります。

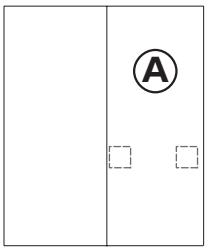
▼リフォムス

1616／1216 、 1717／1317／1217 、 1621 コーナー浴槽

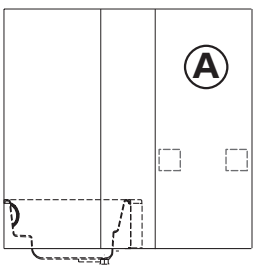
1616／1216



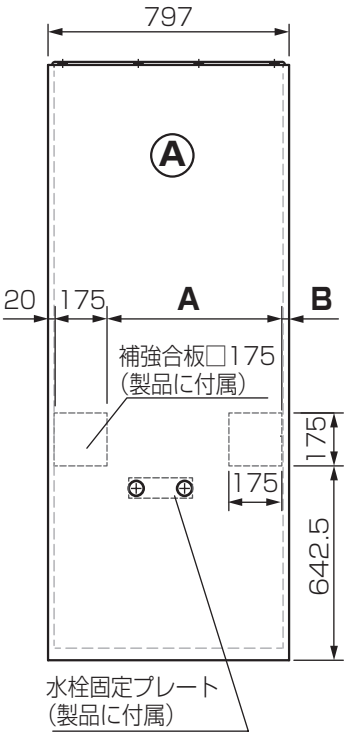
1217／1317／1717



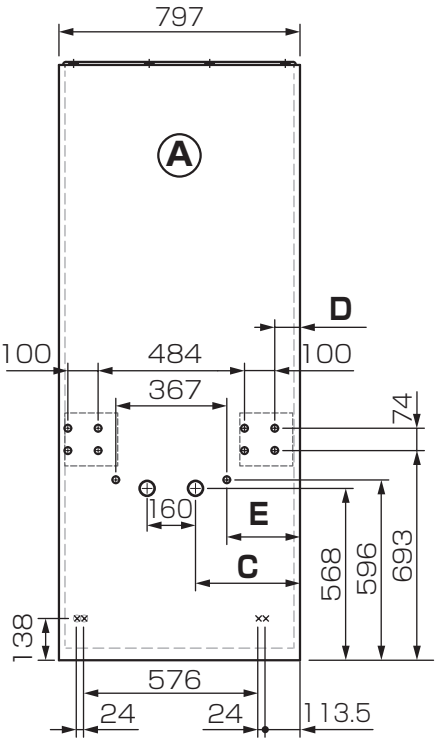
1621 コーナー浴槽



●補強合板貼り付け位置



●取付穴加工位置



	A寸法	B寸法	C寸法	D寸法	E寸法
1616／1216	578	24	323.5	61.5	220
1717／1317／1217	556	46	345.5	83.5	242
1621コーナー浴槽	557	45	344.5	82.5	241

▼リフォムス

〔寸法単位：mm〕

1621 ナナメ・タマゴ・ストレート　、　1624（コーナー浴槽）

下図はR勝手の場合における壁パネル表側から見た位置図です。補強合板および水栓固定プレートは、点線表示しています。

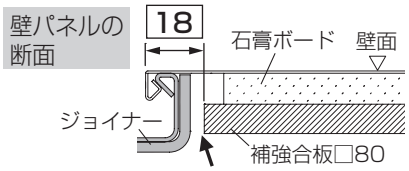
●下穴サイズ

○ 印	φ3.2
× 印	φ2.8

□ 部は、補強合板位置。

重要　**補強合板□80の貼り付け**

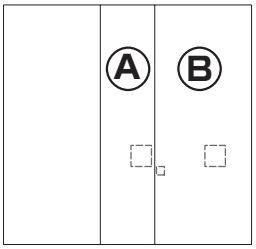
石膏ボードからねじが外れる場合がありますので、付属の補強合板を必ず貼ってください。



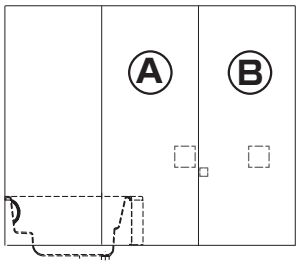
●補強合板は壁端から18mmの位置に貼り付けてください。

●□内寸法を守らないとジョイナーと補強合板が干渉するおそれがあります。

1621 ナナメ・タマゴ・ストレート

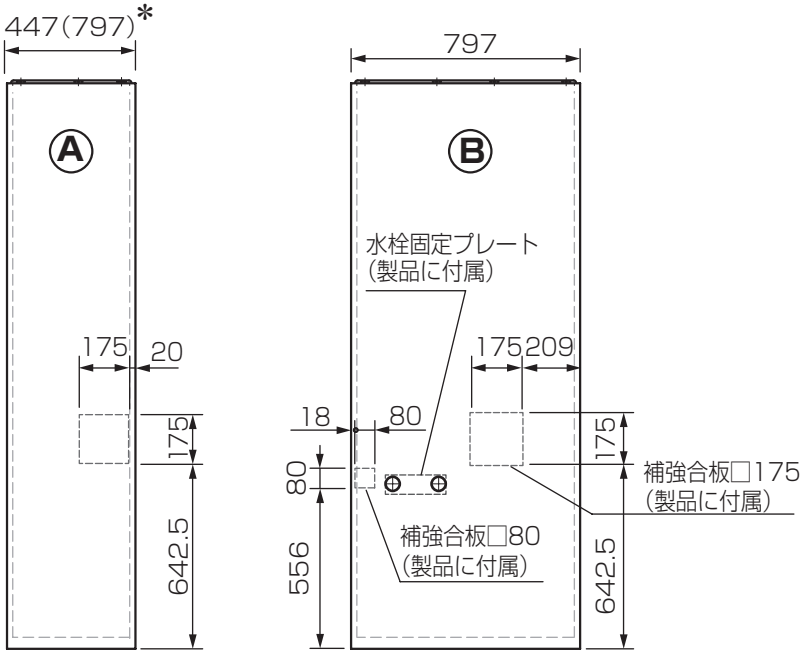


1624（コーナー浴槽）

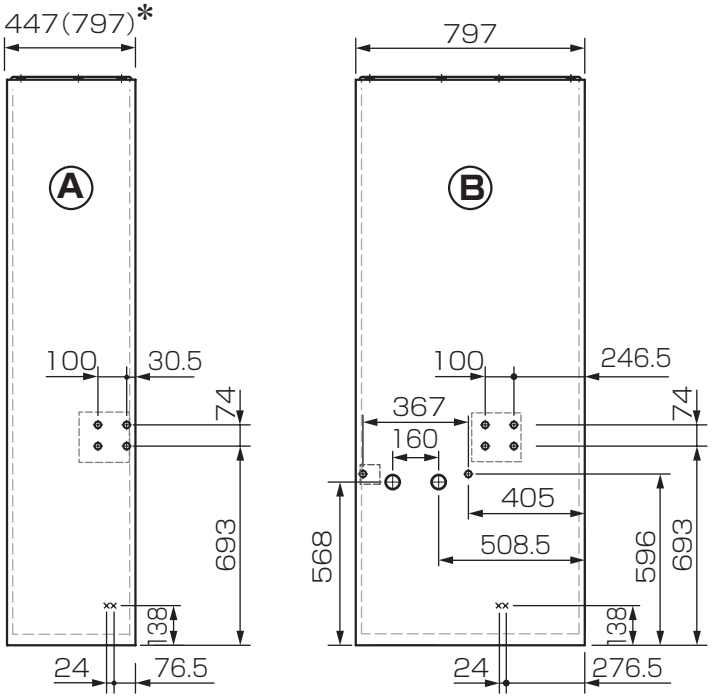


＊(　)寸法は1624(コーナー浴槽)

●補強合板貼り付け位置



●取付穴加工位置



▼ ココチーノ　NEW L クラス

〔寸法単位：mm〕

1616／1316／1216 、 1618 、 1621 ワイド

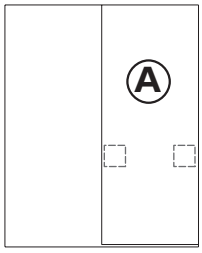
下図は R 勝手の場合における壁パネル表側から見た位置図です。
補強合板および水栓固定プレートは、点線表示しています。

●下穴サイズ

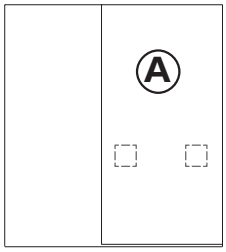
○ 印	φ3.2
× 印	φ2.8

□ 部は、補強合板位置。

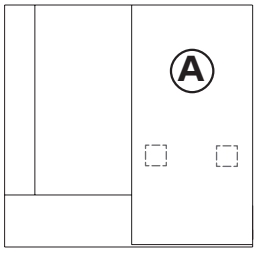
1616／1316／1216



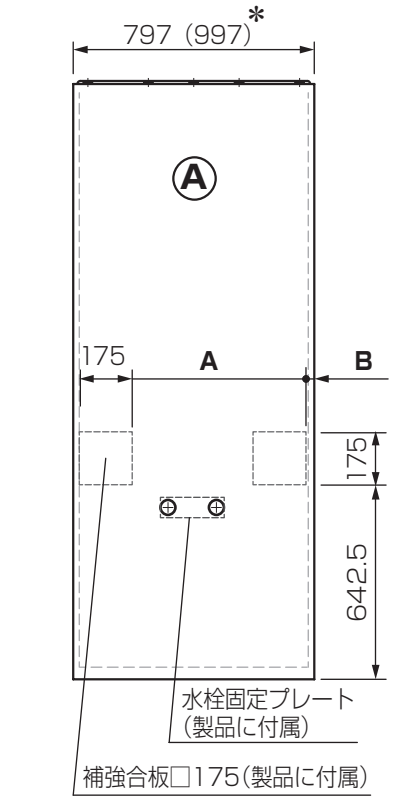
1618



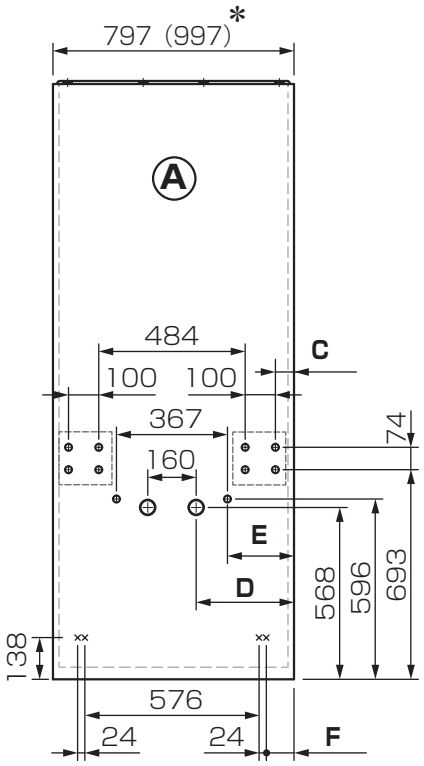
1621 ワイド



●補強合板貼り付け位置



●取付穴加工位置



*（　）寸法は1618、1621ワイド

	A寸法	B寸法	C寸法	D寸法	E寸法	F寸法
1616／1316／1216	574.5	27.5	65	327	223.5	95
1618	584	127.5	165	427	323.5	195
1621ワイド	584	127.5	165	427	323.5	195

▼ ココチーノ　NEW L クラス

〔寸法単位：mm〕

1621 エスライン・アーチ・リクライン　、　1623 ワイド

下図は R 勝手の場合における壁パネル表側から見た位置図です。補強合板および水栓固定プレートは、点線表示しています。

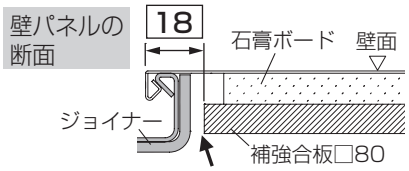
●下穴サイズ

○ 印	φ3.2
× 印	φ2.8

□ 部は、補強合板位置。

重要　**補強合板□80 の貼り付け**

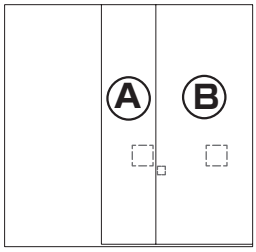
石膏ボードからねじが外れる場合がありますので、付属の補強合板を必ず貼ってください。



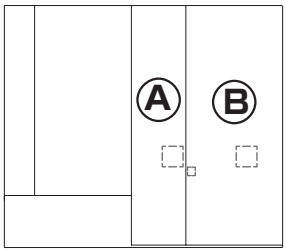
●補強合板は壁端から18mmの位置に貼り付けてください。

●□ 内寸法を守らないとジョイナーと補強合板が干渉するおそれがあります。

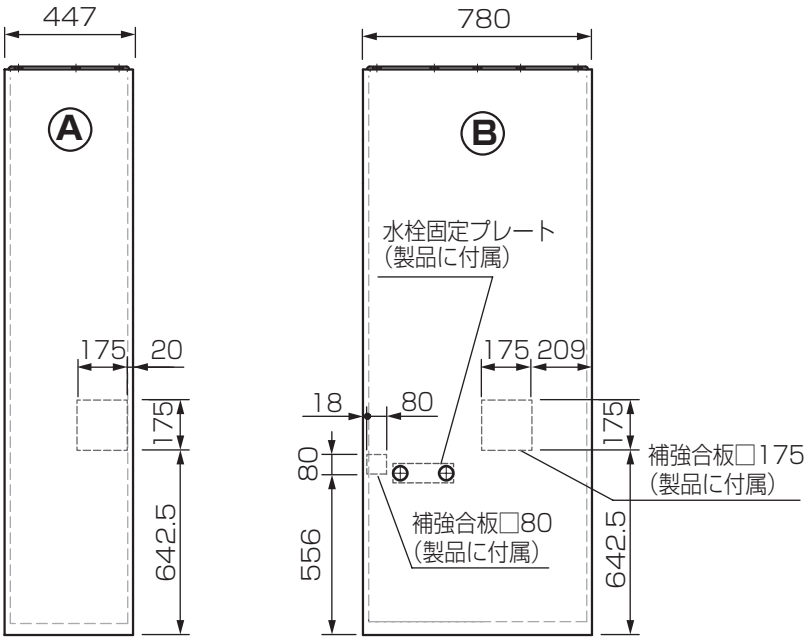
1621 エスライン、アーチ、リクライン



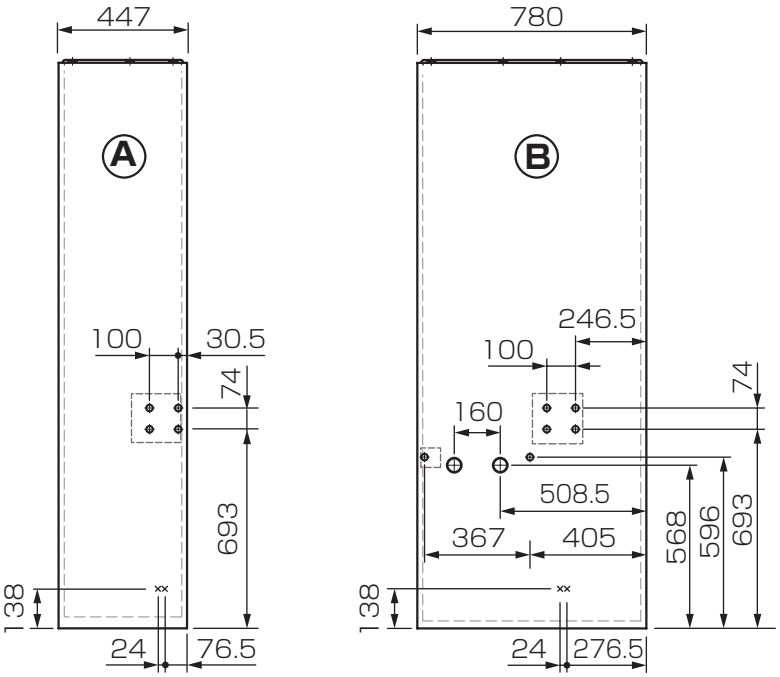
1623 ワイド



●補強合板貼り付け位置



●取付穴加工位置



取付設置前準備

壁パネルの組み立て

※9ページ～12ページで
取り付け穴開口および
補強合板貼り付け位置を
確認してください。

⚠注意

必ず守る

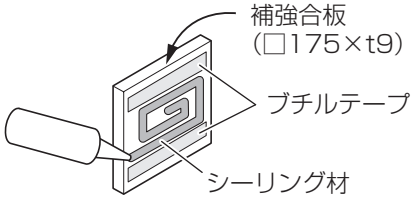
シーリング材充てんは指定か所に確実に行う
確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。

水栓固定金具や裏配管の取り付けは、必ず専用工具を使用する
専用工具を使用しないと、部材などが破損して水漏れの原因となります 。

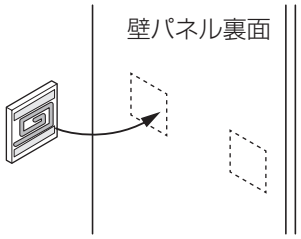
締め付けリングはドリリング皿タッピンねじで確実に固定する
ねじ固定をしないと、緩みにより水漏れしたり、落下してけがをするおそれがあります。

1 補強合板の貼り付け

❶ 補強合板にシーリング材を塗布し、ブチルテープを貼る。



❷ 壁パネル裏面に補強合板を貼り付ける。



※補強合板貼り付け位置は、9ページ～12ページ参照。

お願い

作業後は少し時間をおき、完全に貼り付いていることを確認のうえ、2 へ進んでください。

2 壁パネルの穴開口

壁パネルの穴開口を行ってください。

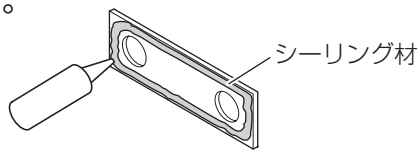
※穴開口位置は、9ページ～12ページ参照。

お願い

- 必ず壁パネルの建て込み前に行ってください。
- プレ穴加工されているパネルがないことを確認してください。
- 穴開口は浴室外で行ってください。
（もらいさびの原因となります。）

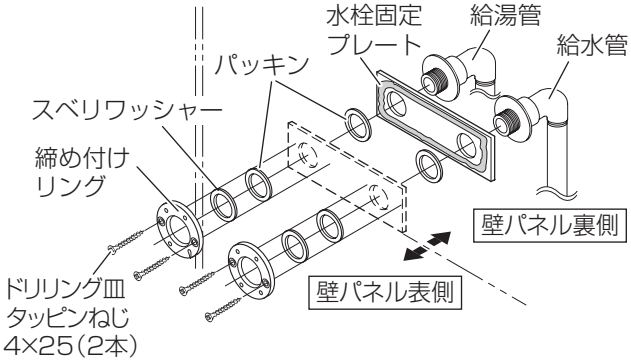
3 裏配管・水栓固定プレートの取り付け

❶ 水栓固定プレートにシーリング材を塗布する。

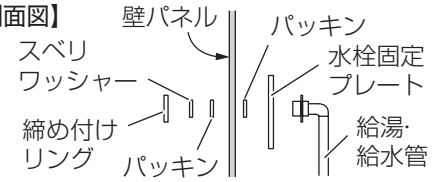


❷ 壁パネルに貼り付け、ねじで固定する。

※貼り付け位置は、9ページ～12ページ参照。

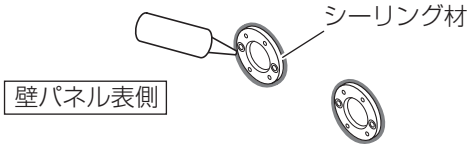


【側面図】



4 シーリング

締め付けリングと壁パネルのすき間をシーリングしてください。



5 壁パネルの建て込み

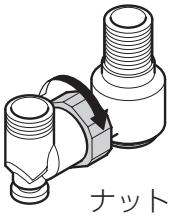
6 天井パネルの取り付け

詳しくは、バスルームの取付設置説明書【本体編】をご覧ください。

取付設置手順

1 止水栓の取り付け

❶ 止水栓ブロックを分解する。



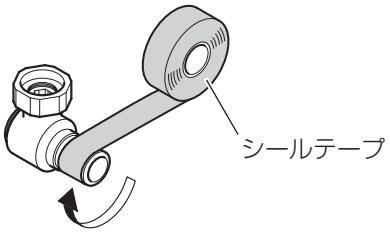
ナットを回して分解する



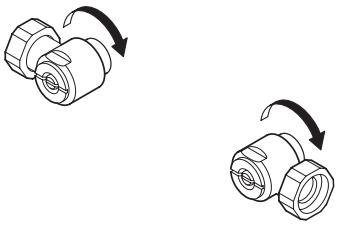
❷ シールテープを巻く。

接続ねじ部から**水漏れ**がないように、シールテープを巻いて接続してください。

（ストレートねじの場合は、7〜8回を目安に巻いてください。）



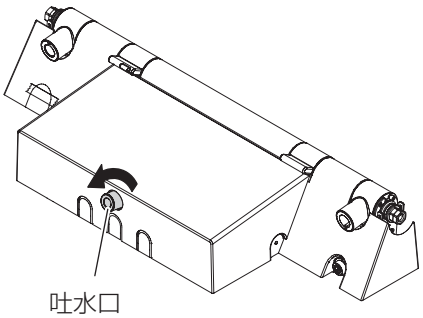
❸ 壁面の水栓固定金具に止水栓を取り付ける。

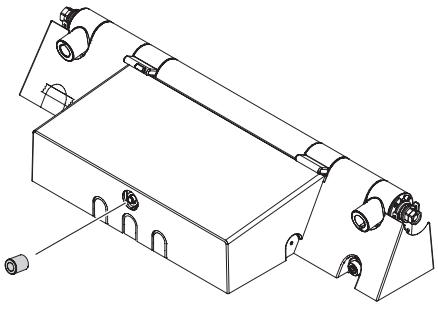


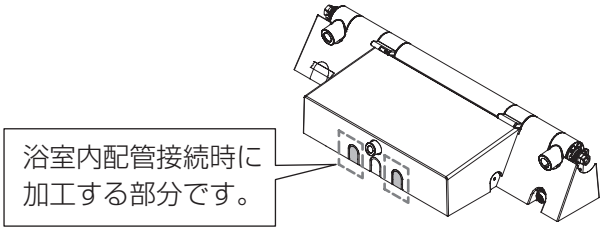
2 シャワーブロックのカバーの取り外し

※取り外したねじ類は再使用しますので、なくさないように保管してください。

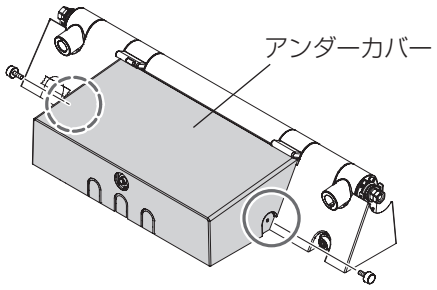
❶ 吐水口を取り外す。



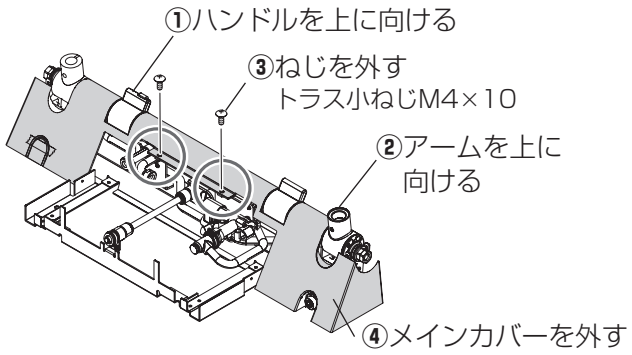




❷ アンダーカバーを取り外す。
（化粧ねじ2か所）

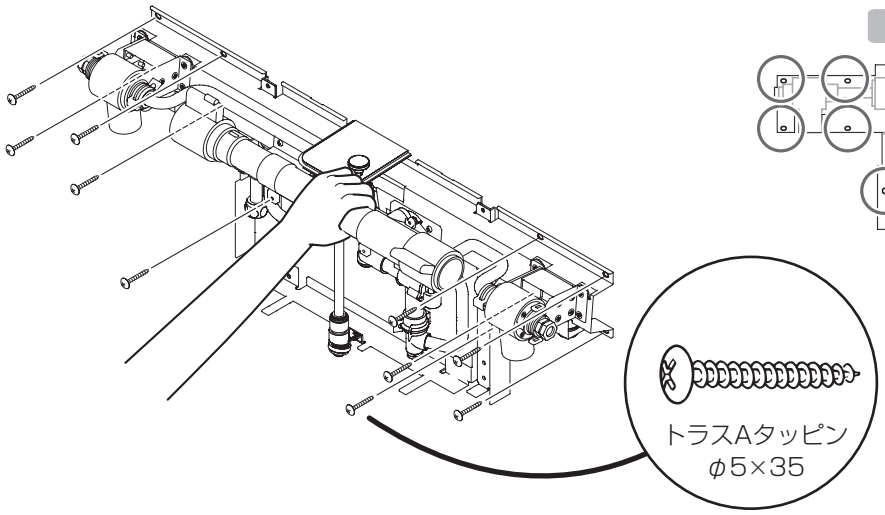


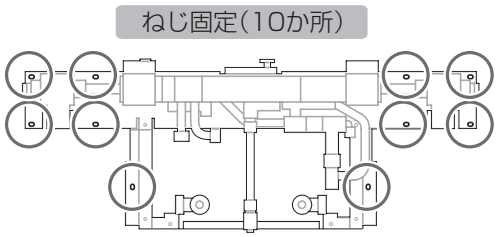
❸ メインカバーを取り外す。（ねじ2か所）



3 シャワーブロックの取り付け

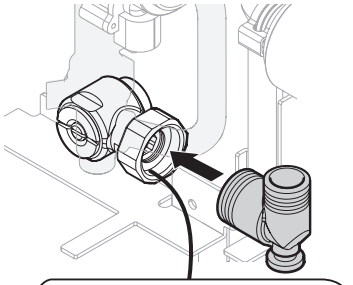
シャワーブロックを壁面に取り付ける。（ねじ10か所）

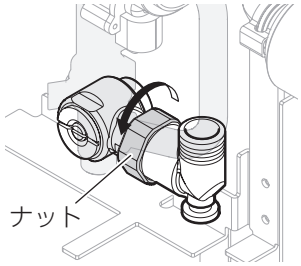




4 配管の接続

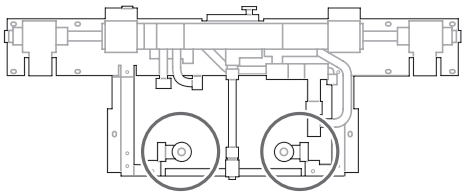
❶ 1 で分解した止水栓ブロックを取り付ける。



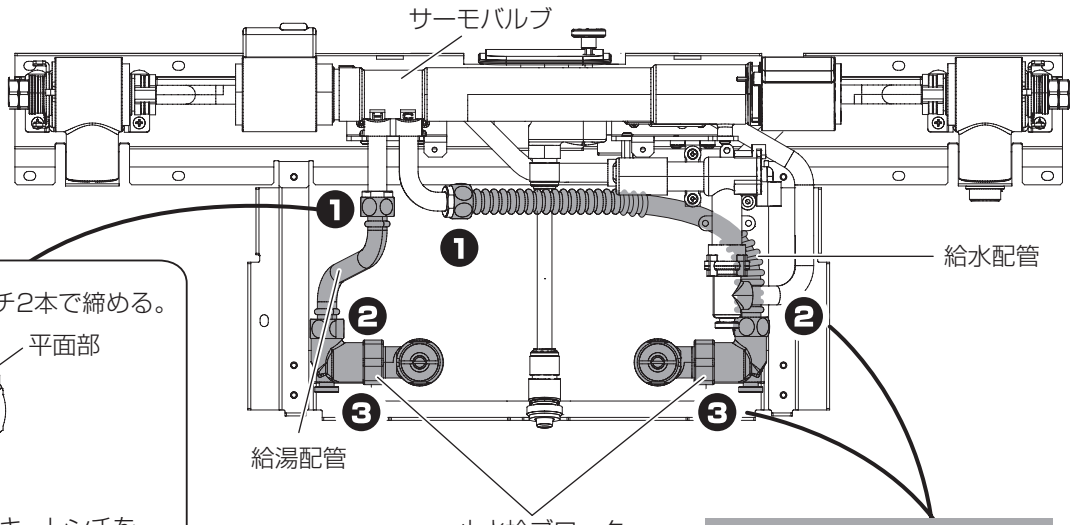


ナットを回して取り付ける

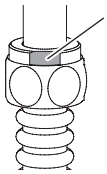
取り付け位置(2か所)



❷ 止水栓ブロックとサーモバルブを給水配管、給湯配管で接続する。
※全体を軽く締めて位置調整をしてから、❶ ❷ ❸ の順番で締めてください。



❶ はモンキーレンチ2本で締める。



ねじの平面部にモンキーレンチをかけて固定し、もう一本のモンキーレンチで袋ナットを回してください。

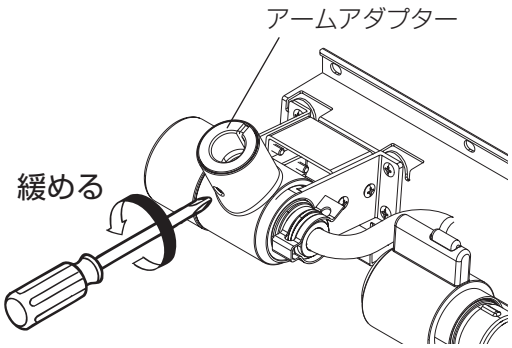


モンキーレンチで締めてください。

5 アームブロックの取り付け

❶ アームアダプターを上に向けて、ねじを緩める。

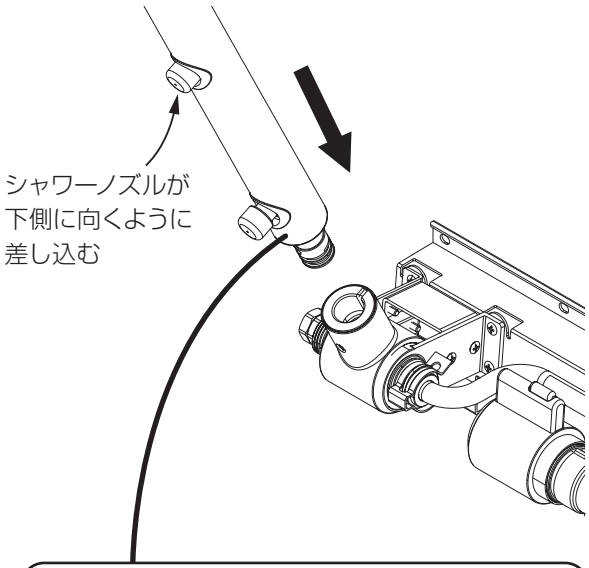
※アームアダプターは手でまわすか、アームブロックを仮に差し込んで回してください。



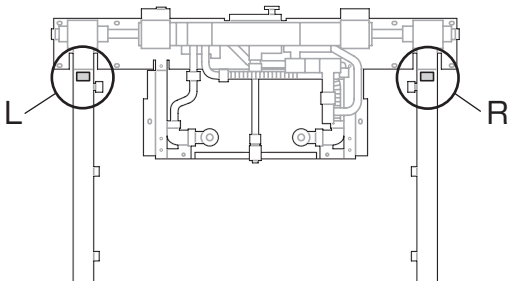
お願い

必ずねじを緩めてからアームブロックを差し込んでください。

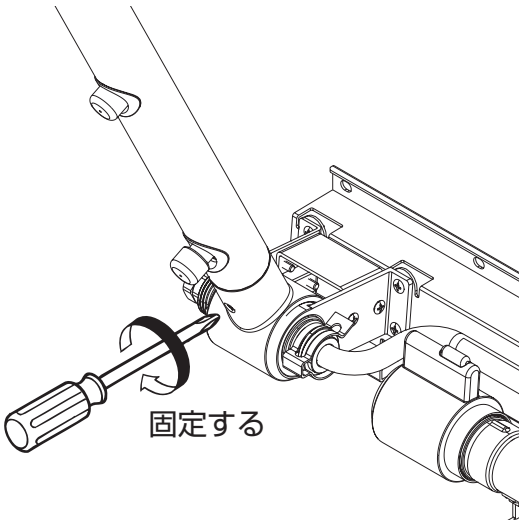
❷ アームブロックのL、R表示ラベルを確認してアームアダプターに差し込む。



※向かって右側に「R」のラベル表示、左側に「L」の表示になるようにしてください。

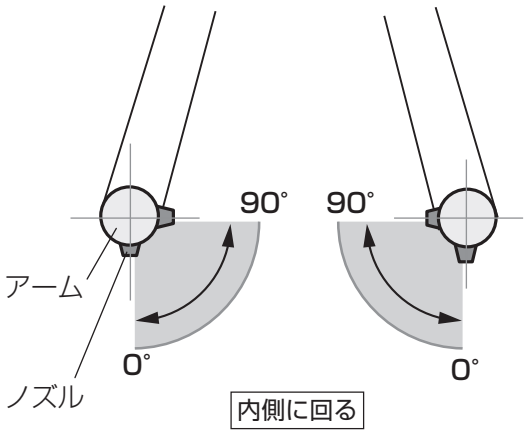


❸ 緩めたねじでアームブロックを固定する。



❹ アームの回転方向を確認する。

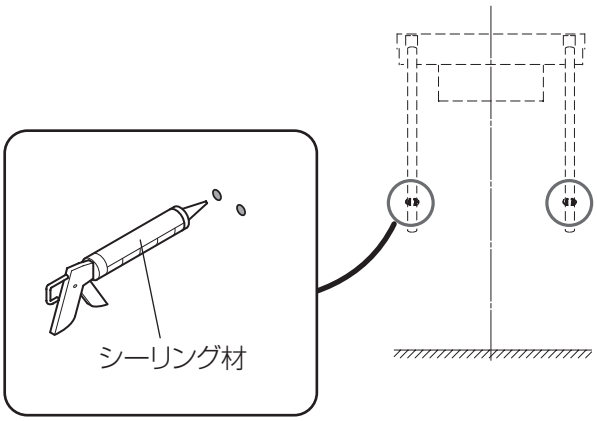
- アームが抜けないこと、がたつかないことを確認してください。
- 図のように内側に回ることを確認してください。



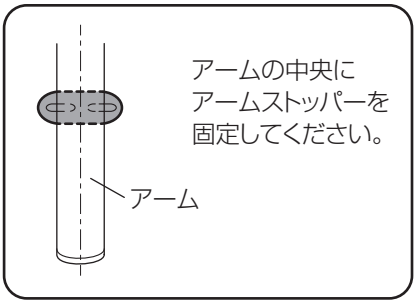
6 付属品の取り付け

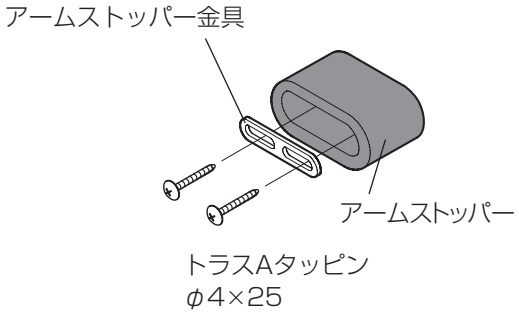
❶ アームストッパーを取り付ける。

1. 取り付け穴にシーリングする。（1個につき2か所）



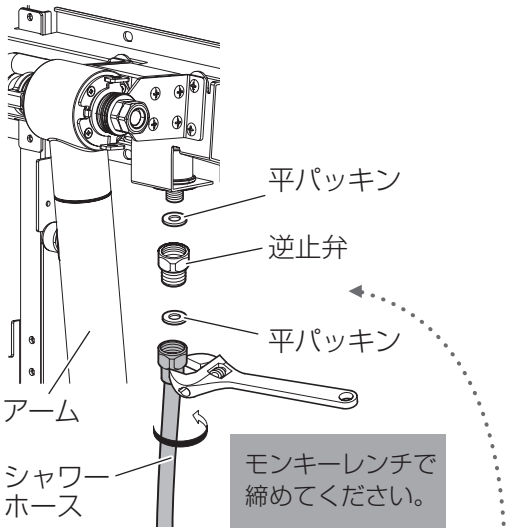
2. アームストッパーを壁面に固定する。
（1個につきねじ2か所）





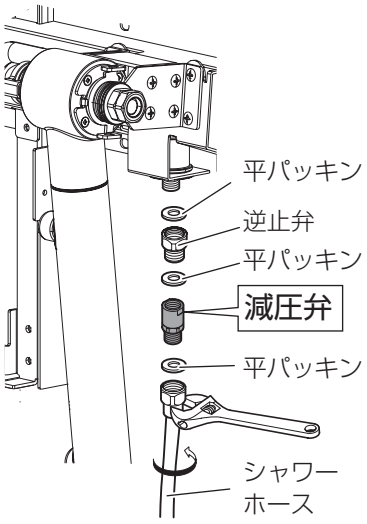
❷ ハンドシャワーを取り付ける。

1. シャワーホースの接続部を本体に取り付ける。

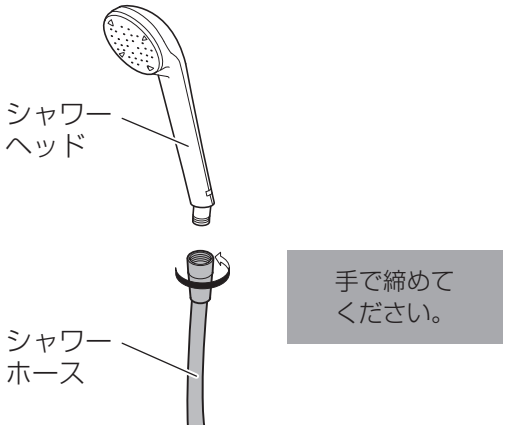


多機能シャワー

減圧弁の取り付けが必要です。



2. シャワーホースの接続部にシャワーヘッドを取り付ける。

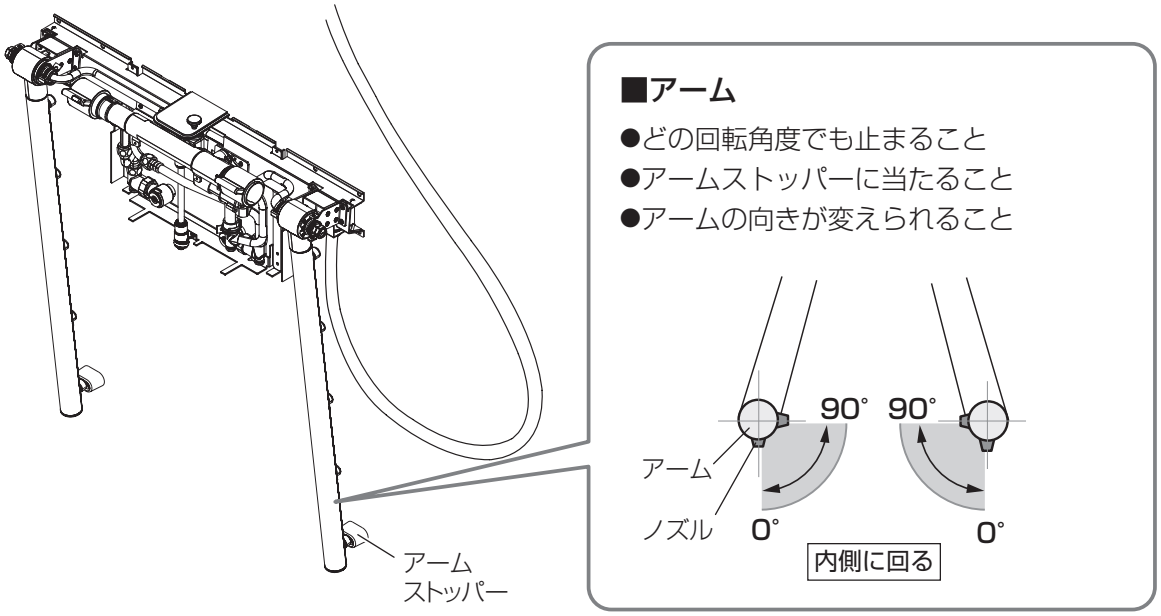


7 試運転

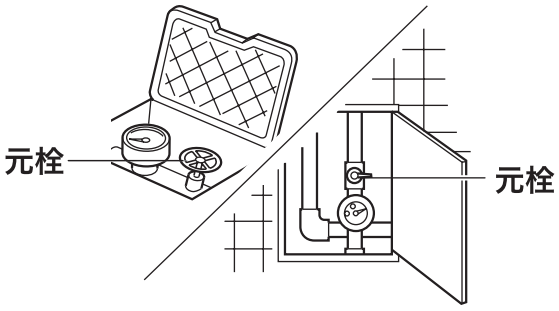
※試運転ができない場合は23ページ 8 へお進みください。

❶ 動作を確認する。

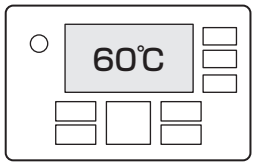
アームを動かして次の項目を確認してください。



❷ 水道の元栓を開けて、水漏れがないかチェックする。



❸ 給湯器の運転スイッチを入れる。

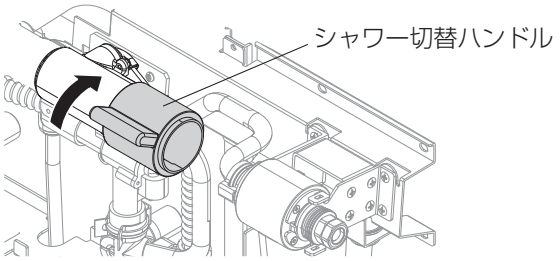


出湯温度は60℃以上に設定してください。
温度が分からない場合は最高温度に設定してください.。

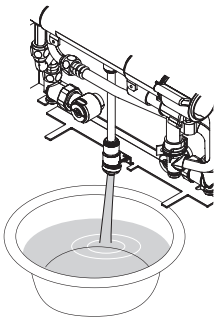
④ 吐水口とハンドシャワーの吐水を確認する。

お願い 必ず、吐水口から吐水してください。
アームシャワーから行うと配管内のごみがノズルに詰まるおそれがあります。

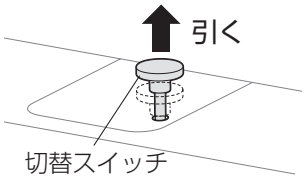
1. シャワー切替ハンドルを吐水側に回し、配管および接続部から水漏れがないか確認する。



2. 吐水口から吐水されることを確認する。

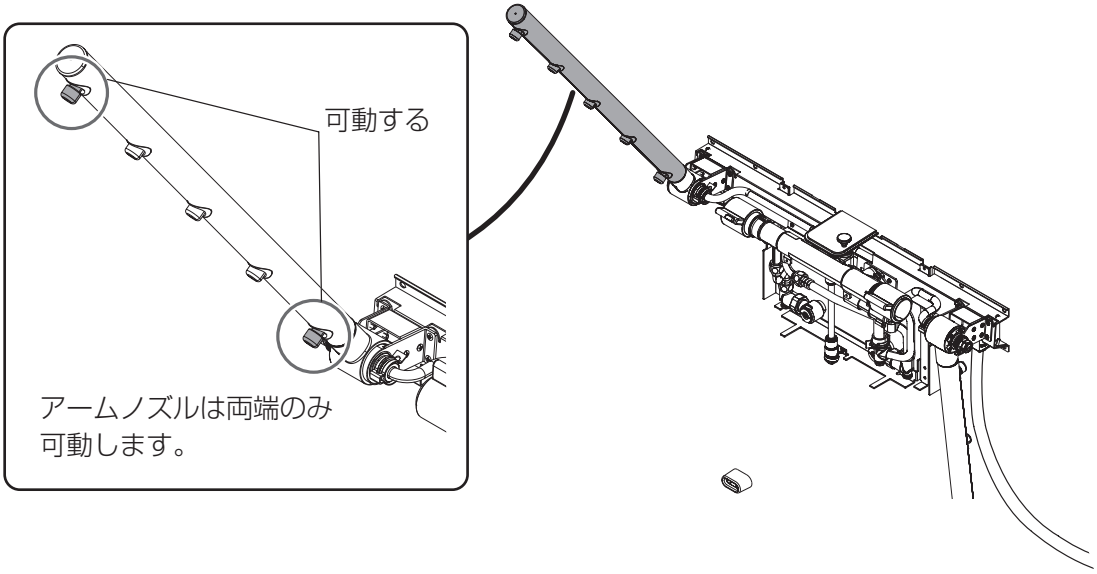


3. 切替スイッチを引き、ハンドシャワーに切り替わることを確認する。
シャワー形状に異常がないか確認する。
配管および接続部から水漏れがないか確認する。



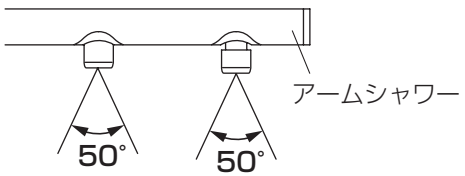
⑤ アームシャワーの吐水を確認する。

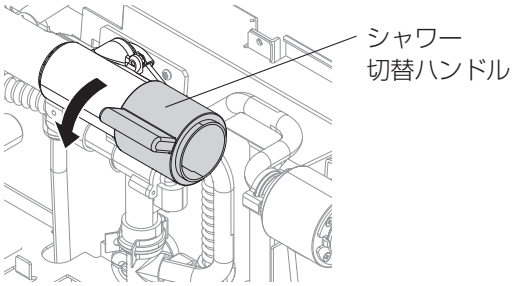
1. 指で可動ノズルが動くことを確認する。



2. シャワー切替ハンドルをアームシャワー側にして、噴霧角度、吐水量が均一であることを目視で確認する。

ノズル噴霧角度





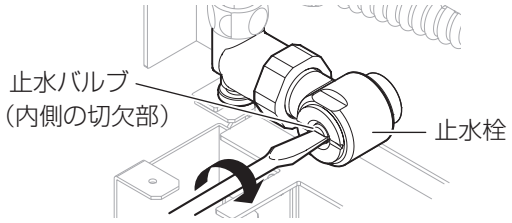
⑥ しばらく通水した後、ストレーナーを清掃する。

⚠注意

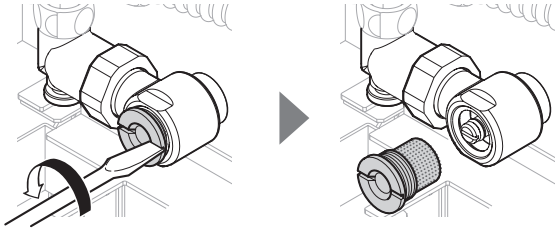
必ず守る	**止水栓やストレーナーは冷えてから扱う** 守らないと、やけどの原因となります。

1. 水側・湯側の止水栓の止水バルブをマイナスドライバーで閉じる。

湯水の止水バルブ（2か所）または家の元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。



2. ストレーナーの外側の切欠部にマイナスドライバーなどを差し込み、矢印の方向に回して取り外す。



マイナスドライバーなどで緩める　　手で取り外す

3. ごみを取り除く。

ストレーナーに詰まったごみをブラシなどで取り除き、水洗いする。



4. 外した逆の手順で組み立てる。

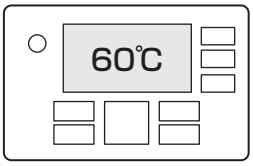
5. 止水栓を開く。

※止水栓を閉じたままだと、水は出ません。

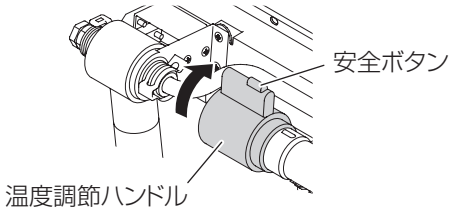
⑦ 吐水温度を確認する。

温度調節ハンドルは工場で設定していますが、使用条件（水圧、給湯温度）が異なると、表示どおりの温度が出ない場合があります。
吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

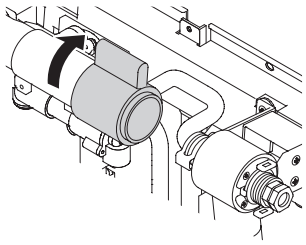
1. 給湯器の温度を設定する。
60℃以上の温度に設定してください。



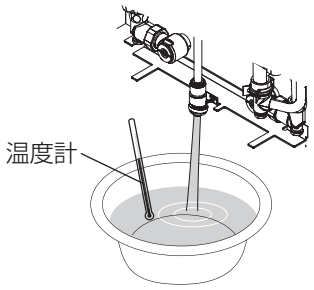
2. 温度調節ハンドルを高温側に回し、安全ボタンを押さずに止まる位置に合わせる。



3. 切替ハンドルを吐水側いっぱいに回す。



4. 吐水温度を確認する。



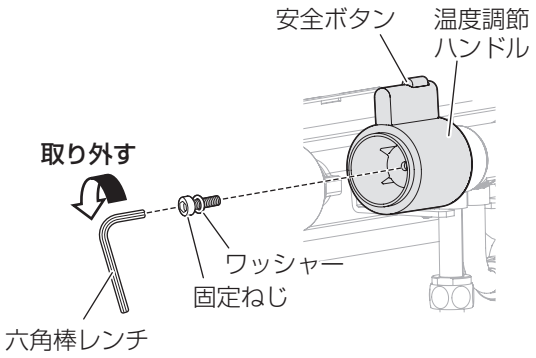
吐水温度が42℃±2℃であれば問題ありません。
吐水温度がずれている場合は次ページの方法で設定しなおしてください。

設定温度の変更方法

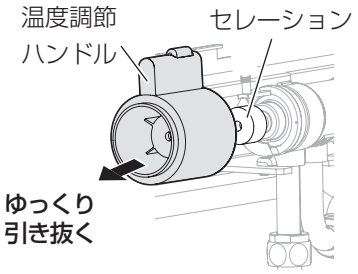
❶ 六角棒レンチで温度調節ハンドルの固定ねじを外す。

1. 温度調節ハンドルを高温側に回し、安全ボタンを押さずに止まる位置に合わせる。

2. 六角棒レンチで温度調節ハンドルの固定ねじを外す。



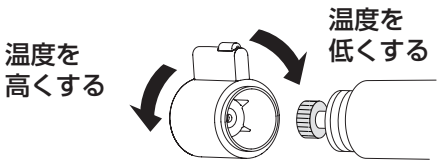
❷ 温度調節ハンドルをゆっくり引き抜く。



※セレーションは取り外さないでください。

❸ 温度調節をする。

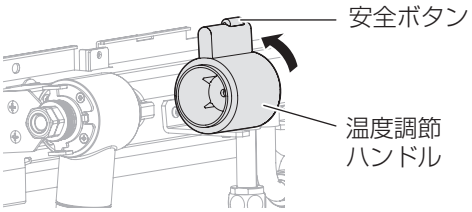
1. 温度調節ハンドル内の「山」と、セレーションの「山」をひとつ分ずらす。



2. 温度調節ハンドルをはめ込む。

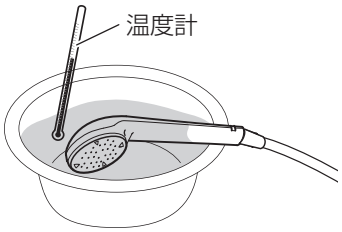
❹ 湯温を確認する。

1. 温度調節ハンドルを高温側に回し、安全ボタンを押さずに止まる位置に合わせる。



2. シャワー切替ハンドルをハンドシャワーに合わせる。

3. 湯温を確認する。

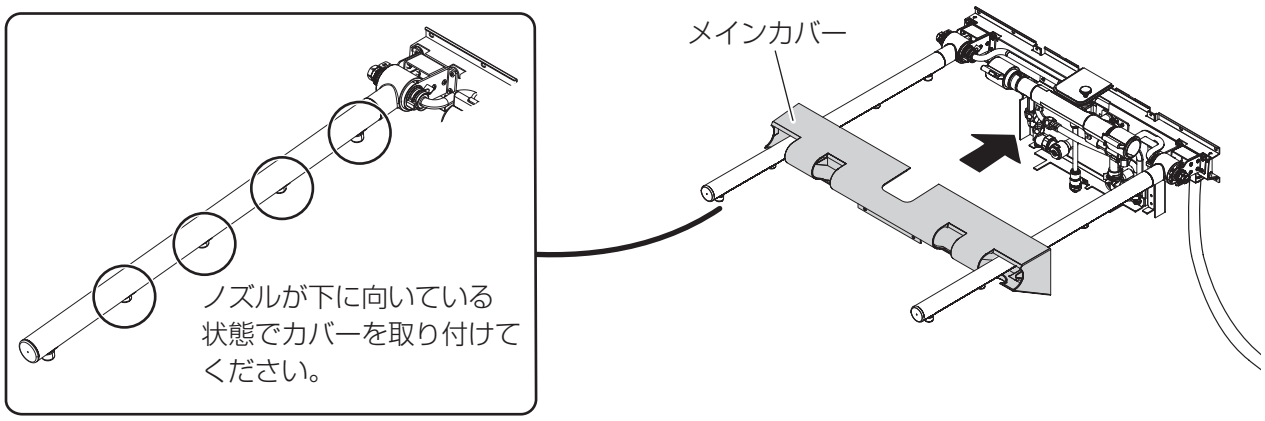


適温でない場合は… ❸ の調節を繰り返す

温度が確定した場合… 固定ねじで温度調節ハンドルを固定する

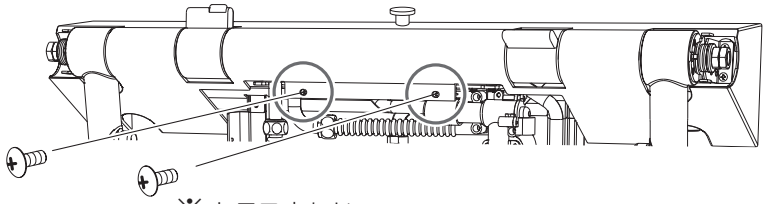
8 カバーの取り付け

❶ アームを水平にし、メインカバーを取り付ける。



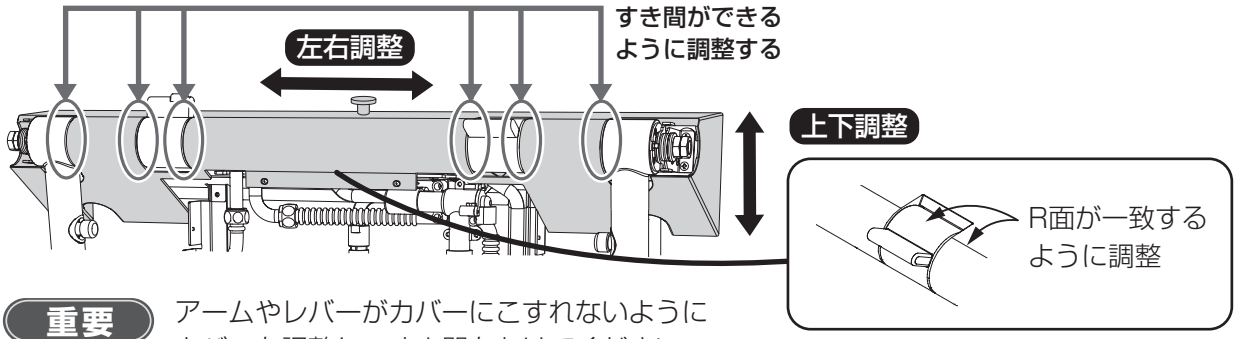
❷ すき間を調整し、ねじで固定する。（トラス小ねじM4×10　2か所）

1. ねじを仮止めする。



※14ページ 2 ❸ で本体から取り外したねじを使用

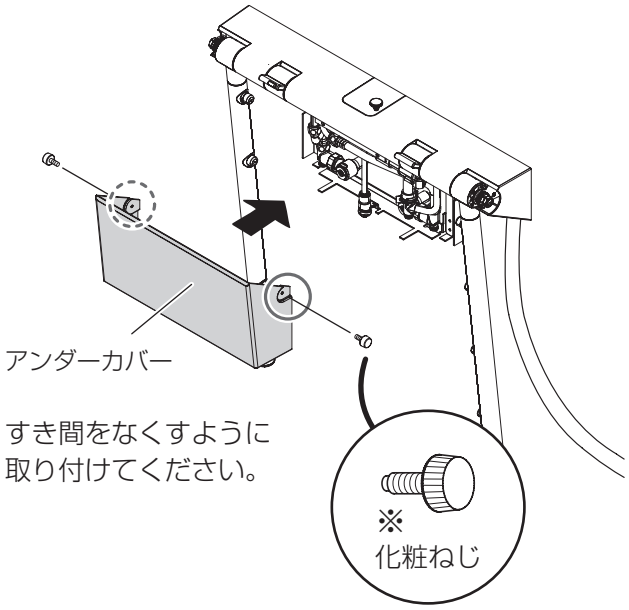
2. カバーの位置調整をする。



重要 アームやレバーがカバーにこすれないように
カバーを調整し、すき間をあけてください。

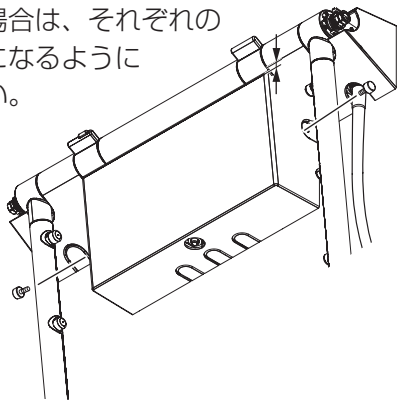
3. ねじを締め付け、本固定する。

❸ アンダーカバーを取り付ける。（化粧ねじ2か所）



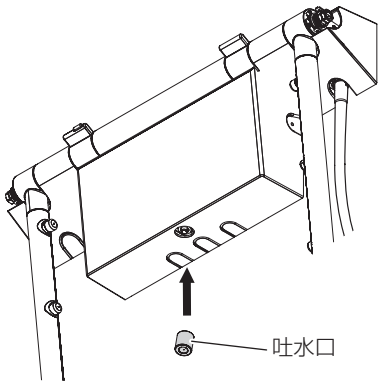
重要

すき間が発生する場合は、それぞれの
すき間の幅が均一になるように
取り付けてください。

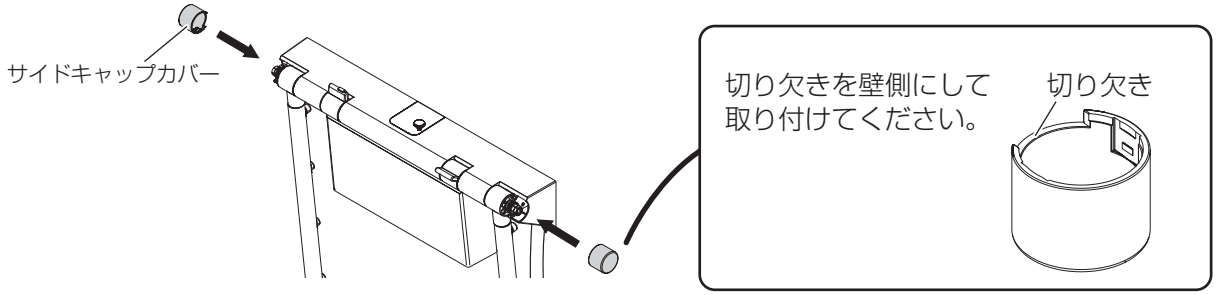


※14ページ **2** ❷ で本体から取り外したねじを使用

❹ 吐水口を取り付ける。



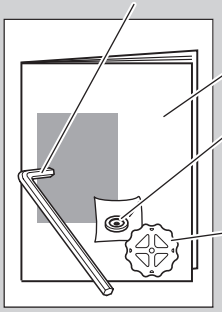
❺ サイドキャップカバーを取り付ける。



取付設置手順

取付設置手順は以上です。

取付設置後は、必ず「構成図」(6ページ)の⑧六角棒レンチと、⑳シャワーホース用オリフィスパッキン、㉑シャワーヘッドのお手入れ治具を⑮取扱説明書の袋の中に入れて、お客様にお渡しください。



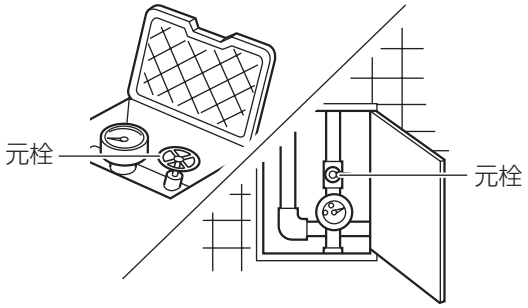
水抜きによる凍結防止方法

凍結のおそれがある時期に取付設置された場合は、
取付設置完了後、配管の水抜き操作と合わせて
次の要領で水抜きをしてください。
また、施主様にも水抜き方法をご説明ください。

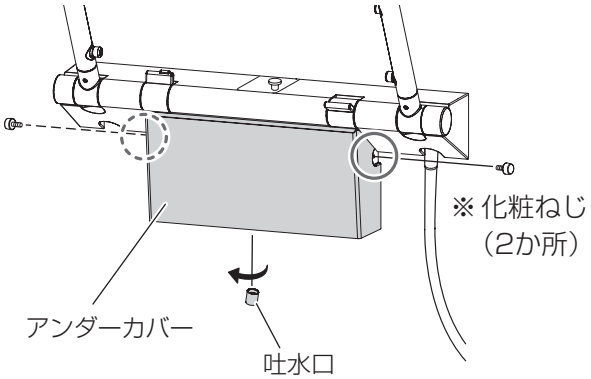
使用直後は水抜栓が熱くなっています。
しばらくしてから水抜きしてください。

⚠注意	
必ず守る	**水抜栓や止水栓は冷えてから扱う** 守らないと、やけどの原因となります。
	凍結が予想される場合は水抜きを行う 水抜きを行わないと、凍結破損して水漏れの原因となります。

❶ 配管部の元栓を閉める。

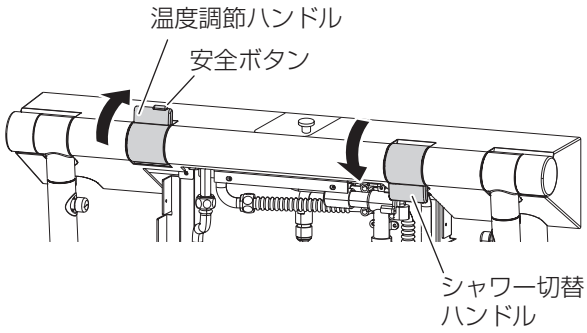


❷ 吐水口を取り外し、アンダーカバーを外す。



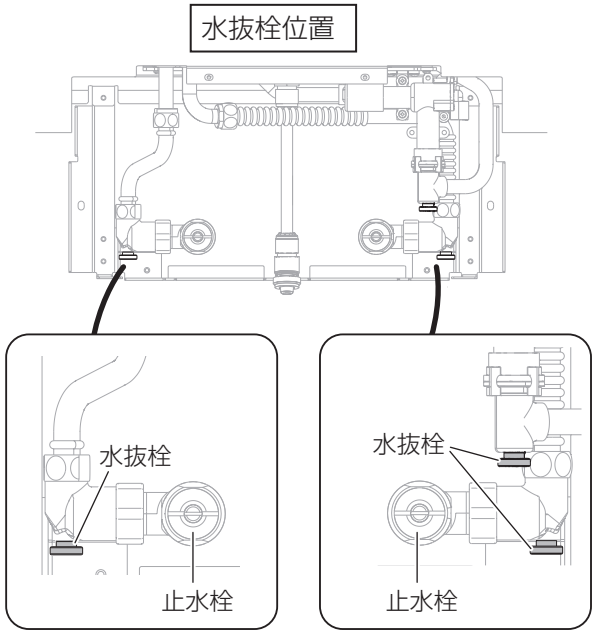
※外した化粧ねじをなくさないようにして
ください。

❸ 温度調節ハンドルを高温側に回し、安全ボタンを押さずに止まる位置に合わせる。

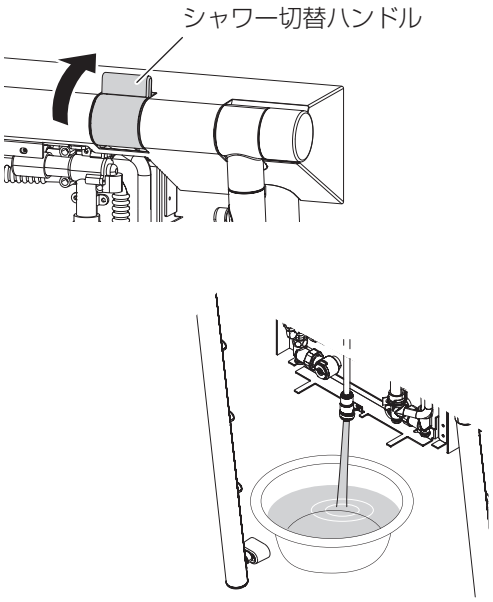


❹ 水抜栓（3か所）を手で回して緩め、水が抜けることを確認する。

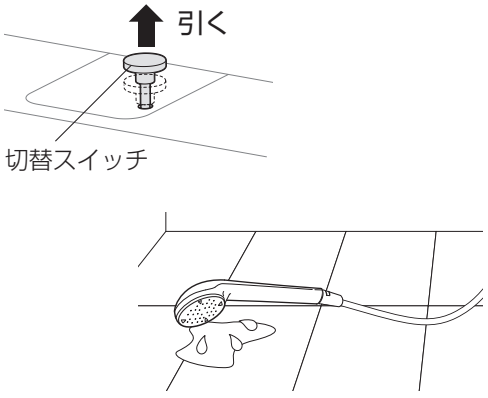
※ねじを緩めると水が抜けます。
水抜栓を外す必要はありません。



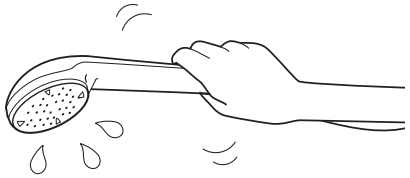
❺ シャワー切替ハンドルを吐水側に回し、吐水口から配管内の水を抜く。



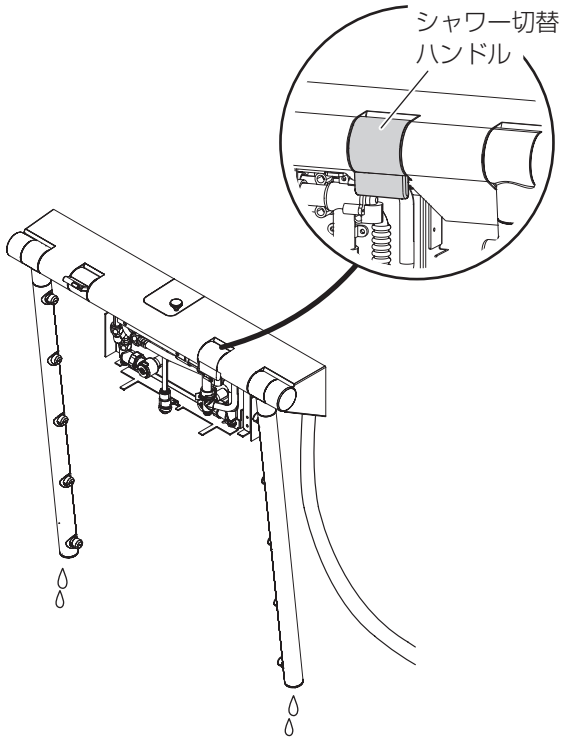
❻ 水が出なくなったらハンドシャワーを床近くへ下げ、切替スイッチを引き上げた状態でホース内の水を抜く。



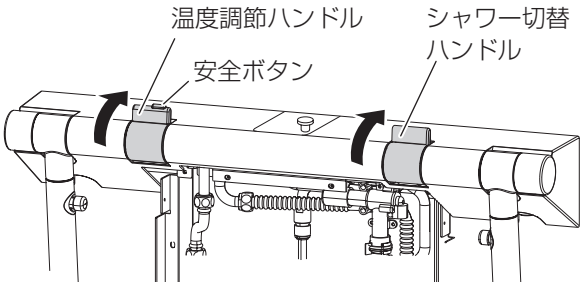
❼ シャワーヘッドを振って中の水を抜く。



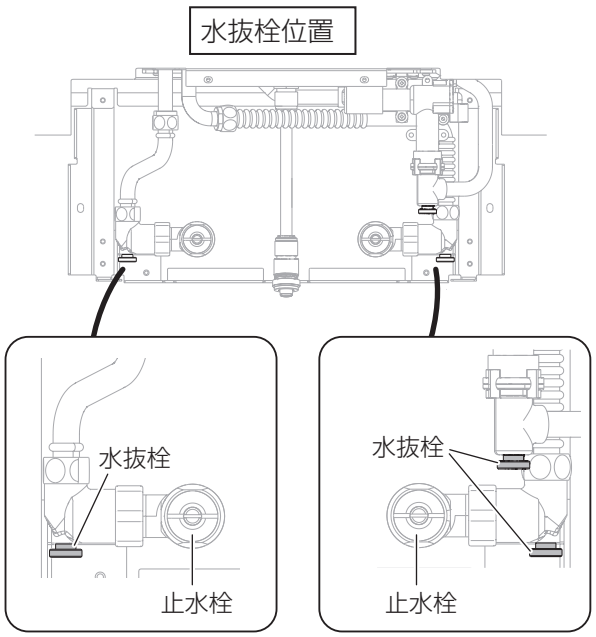
❽ シャワー切替ハンドルをアームシャワー側に回し、アームを下げて中の水を抜く。



❾ 約10分放置後、温度調節ハンドルが安全ボタンを押さずに止まる位置であることを確認して、シャワー切替ハンドルを吐水側にする。

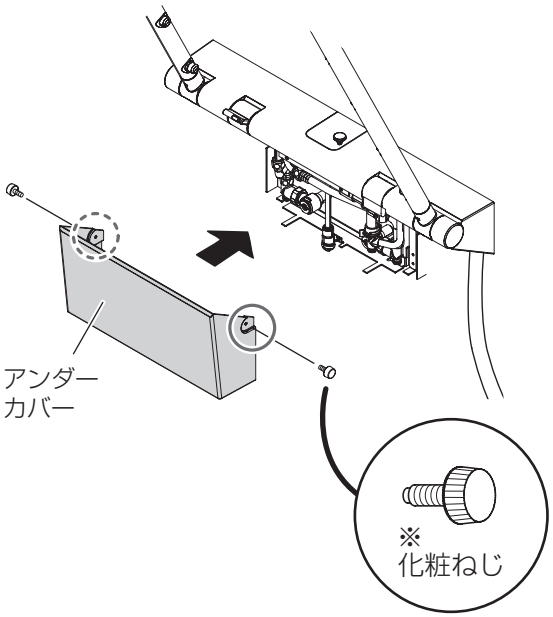


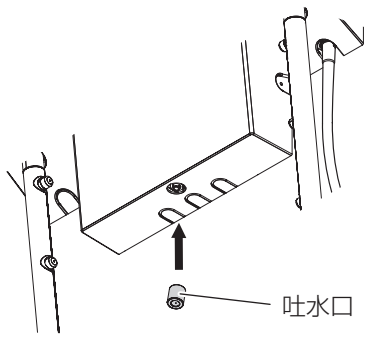
⑩ 水抜栓(3か所)を閉める。



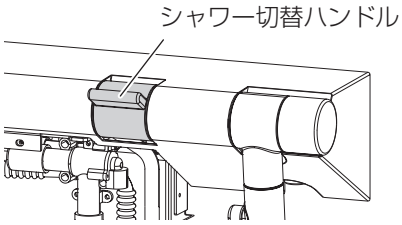
⑪ アンダーカバーを取り付け、ねじで固定し、(化粧ねじ2か所)吐水口を取り付ける。

※ ② で外した化粧ねじを使用





⑫ 通水を再開する場合は、
シャワー切替ハンドルを止水の位置に
合わせ、配管の元栓を開ける。



取り付け後の確認

	チェック項目		チェック内容	参照ページ	チェック
試運転	アーム動作		どの回転角度でも止まること	19	
			アームストッパーに当たること	19	
			アームのR／Lが間違ってないこと	17	
			アームの向きが変えられること（下向き～内向き）	19	
	吐水	給湯器	給湯器の設定温度が60℃以上であること	19	
		ハンドシャワー	シャワー形状に異常がないこと	20	
			水漏れがないこと	20	
		アームシャワー	可動ノズルが動くこと	20	
			噴霧角度、吐水量が均一であること（目視確認）	20	
			水漏れがないこと	20	
		吐水口	吐水口から吐水すること	20	
			水漏れがないこと	20	
	ストレーナーの清掃		清掃すること	21	
	吐水温度確認		安全ボタンを押さずに止まる位置で42℃±2℃	21	
			設定温度の修正（上記温度外の場合）	22	
部品の取り付け	メインカバーの取り付け		ハンドルとメインカバーのすき間を調整すること	23	
			ハンドルとメインカバーの面を調整すること	23	
	アンダーカバーの取り付け		メインカバー、ハンドルとのすき間を調整すること	24	
	水抜きの実施		実施の有無	25～27	

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Corporation 2014
GVN2947
D0614-0